

令和 8 年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

特別支援教育教員養成課程
特別支援教育初等教育プログラム
特別支援教育中等教育プログラム

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙に横書きで記入すること。
2. 解答紙は、必ず受験番号を記入すること。
3. 解答紙は、両面に解答欄があるか確認すること。

- [1] あなたが特別支援教育を担う教師を目指す理由とそのためにおこなってきたことを述べてください (200 字以内)。

[2] 下欄は、歌人の伊藤一彦さんが新聞に連載した文章の一部です。歌が上手になる三つの方法について書いています。文章を読み、問題に答えてください。

(問 1) 文章を要約してください (125 字以内)。

(問 2) この三つの方法を、あなたが将来教師として活用するとします。あなたがおこないたい取り組みについて、三つ全て、具体的に記述してください。それぞれの取り組みを選んだ理由を記述に含めてください (700 字以内)。

短歌は一生続けることに意味がある。僕の所属する「心の花」は会員が毎月 8 首投稿することになっていて、僕は新入会員には「いいか悪いかは選者が判断する。とにかく送ることが大事だ」と言います。

次に推敲 (すいこう)。作為的な歌は浅はかで駄作が多いし、日常生活や自分の感情のコピーではつまらない。ああでもないこうでもないと考えた末、思わぬ場面、思わぬ気持ちが出てきた時にいい歌ができる。つまり未知なる自分、未知なる世界に出会うことが大事です。

要は自分の納得する歌をいかに作るか。推敲を楽しめる人は伸びます。

自分の歌に満足できないとスランプに陥りづらい。でも、それは新しい自分が生まれるチャンスです。やめたくなったら少し休んでまた始めればいい。

もう一つ、批評を受けること。自分の顔って人は毎日見ているけれど、自分は鏡像しか見ていない。同様に、自分の歌って自分では見えないものです。

【聞き書き】青の月光 < 8 6 > 短歌一生、無限に成長—連載 / オピニオン
2024/07/02 西日本新聞朝刊より 一部抜粋